

## 第2回曾根正夫杯少年剣道大会

- 趣 旨 50年以上の長きに渡り、静岡市体育協会主催の剣道教室指導員を務めるなど、静岡市内の少年剣道指導に尽力された故曾根正夫先生(剣道錬士六段)の偉大な功績に敬意と感謝の意を表し、少年剣士の健全育成を願った曾根先生の志を継承することを目的として少年剣道大会を開催する。
- 主 催 曾根正夫杯少年剣道大会実行委員会(金田紳一郎実行委員長)
- 部 門 ①低学年(4年生以下)の部  
②高学年(5・6年生)の部
- 日 時 令和3年11月28日(日)  
①低学年の部・・・8時30分集合・9時開会・12時終了  
②高学年の部・・・12時30分集合・13時開会・16時終了
- 会 場 北部体育館剣道場
- 試合方法 5人制団体戦(予選リーグ・決勝トーナメント)
- 参集範囲 静岡市内の少年剣道団体(葵区・駿河区・清水区)
- チーム編成 単独でのチーム編成が不可能な団体は混成を認める。  
監督・保護者の責任の下、低学年が高学年の部へ出場することを認める。  
登録は最大7人で、試合ごとに選手交代・オーダー変更を認める。
- 参加料 1チーム5,000円(大会当日受付で納めてください)
- 申込期限 「参加申込書(高学年・低学年)」と「審判員・係員 報告票」を合わせて大剣会 佐藤孝志へ郵送してください。  
〒422-8025 静岡市駿河区水上7-11 いちご園三軒屋  
電話 054-236-1530 FAX 054-236-1533  
締め切り 令和3年10月23日(土)
- オーダー表 オーダー表は大会事務局で用意しますので提出不要です。
- 審判員 各団体から審判員1人以上の選出をお願いします。  
(段位は問いませんが、試合規則を理解し審判法の所作事を習得している方をお願いします。午前・午後で担当者が変わっても構いません。)
- 試合場係員 時計・掲示・記録等の係員として、各団体から1人の選出をお願いします。  
(午前・午後で担当者が変わっても構いません。)
- コロナ対策 静岡県剣道連盟【大会実施にあたってのコロナ感染拡大予防ガイドライン】並びに【曾根正夫杯剣道大会コロナ感染予防ガイドライン】に基づいて実施します。
- 日当・手当 午前中に出ていただいた審判員・係員の昼食はご用意させていただきます。  
(予算の関係上、日当はご用意できませんので、ご了承をお願いいたします。)

## 第2回曾根正夫杯少年剣道大会参加申込書

### 【低学年の部】

チーム名

---

監督名

---

付添者名

---

付添者名

---

選手名簿

	氏 名	学 年
1		年
2		年
3		年
4		年
5		年
6		年
7		年

※試合ごとのオーダー変更・選手交代自由です。

## 第2回曾根正夫杯少年剣道大会参加申込書

### 【高学年の部】

チーム名

監督名

付添者名

付添者名

選手名簿

	氏 名	学 年
1		年
2		年
3		年
4		年
5		年
6		年
7		年

※試合ごとのオーダー変更・選手交代自由です。

# 審判員・係員 報告票

団体名 \_\_\_\_\_

【午前】

審判員 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 段)

係員 \_\_\_\_\_

【午後】

審判員 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 段)

係員 \_\_\_\_\_

※審判員、係員ともに、各団体1人以上お願いします。

※午前・午後で担当者が変わっても構いません。

※昼食は午前に担当していただいた方にお渡しします。

# 曾根正夫杯剣道大会 参加承諾書・健康状態報告票

(コピーして大会当日来場者全員分提出してください)

令和3年11月28日

健康状態を下記の通り調査・確認の上、大会ガイドラインを遵守した上で参加することを承諾いたします。また、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、速やかに大会主催者へ連絡することを承諾いたします。

団体名 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

大会当日体温 \_\_\_\_\_ °C TEL \_\_\_\_\_

## 選手・監督・付添者・審判員・係員

(該当する立場に○を付けてください)

大会開催前14日間において、以下の内容に間違いありません。

- 1 37.5°C以上の発熱 【 ある ・ ない 】
- 2 咳、喉の痛みなど風邪の症状 【 ある ・ ない 】
- 3 だるさ、息苦しさ等の症状 【 ある ・ ない 】
- 4 嗅覚や味覚の異常等の症状 【 ある ・ ない 】
- 5 新型コロナウイルス感染者との濃厚接触 【 ある ・ ない 】
- 6 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方 【 いる ・ いない 】
- 7 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触 【 ある ・ ない 】

# 曾根正夫杯剣道大会コロナ感染予防ガイドライン

## 1 大会に参加できない者(選手・監督・付添者・審判員・係員含む)

- ・基礎疾患がある。
- ・37.5°C以上の発熱がある。
- ・喉・咽頭痛など、風邪症状があり体調が良くない。
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触があった。

## 2 大会に参加する者

- ・大会に参加する選手・監督・付添者・大会役員・審判員・係員は、「参加承諾書・健康状態報告票」に必要事項を記入し、大会当日受付時に提出する。
- ・会場内では常にマスクを着用する。

## 3 大会運営

- ・午前に【低学年の部】、午後に【高学年の部】を行い、密集を避ける。
- ・会場の扉を開け換気を行う。
- ・受付時間前の上場は不可とし、試合が終了した選手は速やかに退場する。
- ・会場入口、本部席、各試合場に消毒液を配置する。
- ・受付係等、対面での事務に就く者はマスクに加えフェイスシールドを着用する。
- ・各チームの移動が円滑になされるよう、誘導係・整理係の指示に従い行動する。
- ・各チーム指定された場所に荷物等を置き、待機中も密集にならないよう留意する。
- ・会場でのウォーミングアップは十分な間隔をあげた上で実施し、15分程度とする。
- ・開会式、閉会式は簡素化し、整列時の間隔も十分に空ける。
- ・大会開催中も多くの人が利用する場所や用具を定期的に消毒する係員を設置する。
- ・すべての関係者は食事の空箱や持参したもの、ゴミ類を持ち帰る。
- ・大会事務局は静岡県剣道連盟に対し、「剣道大会実施計画書」と「剣道大会実施報告書」を提出する。

#### 4 選手

- ・選手は、剣道着・袴に着替えた上で来場する。(やむを得ず更衣室を利用する場合は、密集にならないよう、整理係の指示に従って更衣室を利用する。)
- ・選手は会場内では常にマスクを着用し、試合中は面マスクとシールドの両方を着用する。
- ・待機中は選手同士の間隔を1～2m以上あける。
- ・すべての試合が終わったチームは速やかに退場する。

#### 5 監督・付添者

- ・1チームにつき監督1人、付添者2人までとし、その他の観客は入場できない。

#### 6 審判員

- ・審判員は試合中・待機中を問わず、常にマスク(白・無地)を着用する。
- ・審判旗は審判員個人のもので持参するか、大会事務局が用意したものを他者への受け渡しがないように運用する。
- ・審判員は、入退場・礼・合議の際も1m以上の間隔をあける。

#### 7 試合

- ・団体礼の際は選手と選手の間隔を十分にあげ、前後のチームが同時に礼をしない。(1チーム対1チームの礼とする。)
- ・応援は拍手のみとし、声援は禁止とする。
- ・つばぜり合いになったときは、速やかに双方分かれるか引き技を出す。(つばぜり合い中の発声は避けるが、打突時の発声は認める。)
- ・審判員は、選手がつばぜり合いを解消しない場合は速やかに「わかれ」を宣告する。
- ・別れようとする選手を追う形での打突になった場合は、1回目は合議の上注意、2回目以降は合議の上反則とする。

#### 8 その他

- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合には、速やかに所属団体を通じて大会事務局(大剣会 佐藤孝志 090-1092-2641)へ報告する。

## 【曾根正夫先生経歴】

昭和 26 年 4 月 29 日、金谷町生まれ。

中学卒業後に静岡市の正春武道具製作所に住み込みで就職し、当時の職人増田信次さんの指導の下剣道具職人としての修行をスタートさせました。

当時は持ち家がなかったため、28 歳の時唯一の肉親である母親に住ませる自宅を焼津に購入しましたが、生活費を節約するため自動車の免許は取らず、焼津から静岡市内まで毎日自転車で通っていました。台風の暴風の中を自転車で通勤してきたという逸話が残っています。

指導者としては、体育協会の剣道教室(中央体育館、東部体育館)を長く指導された他、城北高校や籠上中学校、春風館、大剣会などでも指導に携わり、数多くの少年剣士たちを育てました。

令和元年、第 26 回大会を最後に幕を閉じた「天野杯争奪剣道大会」の事務局長を長く務められました。

令和 2 年 7 月 30 日逝去 享年 69 歳





## 【第1回大会 記録】

○日時 令和2年12月12日(土)

○会場 養浩館

○参加団体

高学年10チーム SBS 錬心館、大浜剣友会、新運館、颯志剣友会、大剣会、  
東部体剣教・鉄誠会、富剣会、美和剣正会、用宗剣道会、  
ヤマスポ・北部体剣教

低学年6チーム 剣誠会、新運館、颯志剣友会、大剣会、東部体剣教、用宗剣道会

○入賞団体

### 高学年の部

優勝 颯志剣友会

準優勝 新運館

3位 大剣会

### 低学年の部

優勝 大剣会

準優勝 新運館

3位 颯志剣友会